

第 3 回 摂津市中学校給食検討委員会の概要について

開催日時 : 平成 25 年 1 月 9 日 (水) 15 時 ~ 16 時 45 分

開催場所 : 摂津市役所新館 3 階 301 会議室

出席委員 : 学識経験者代表 田中章博 園田充子 各委員
保護者代表 貫山育枝 松原隆文 各委員
中学校校長会代表 筒井 豊 委員
摂津市学校給食会会長 敷本 悟 委員
小学校栄養教諭代表 西村ゆり子 委員
食育担当中学校教諭代表 濱西 加代子 委員

議 事 :

(1) 第 2 回検討委員会概要説明

第 2 回 摂津市学校給食検討委員会の概要について

○ 上記資料をもとにこれまでの検討経過について事務局より説明

(2) 前回検討委員会における質問等に対する回答

他市における昼休み時間の状況

中学校給食自校方式による調理場建築に係る課題等

○ 上記資料をもとに事務局より説明

(主な意見等)

○ 高槻市は先行して 2 校が給食を始めている。最初は、落ち着くまでは準備に時間がかかっていたが、落ち着けばなんとかやれる範囲にはなっているということである。

○ 中学校給食を導入することになって、自校方式の全員喫食にしている市が 11 市程ある。

○ デリバリー方式の選択制にしているのは、43 市ある中で 8 市だけである。学校給食法では、「義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施される

ように努めなければならない。」と書かれている。

○ 中学校がもっている昼休みの機能をどれくらい維持していけるのかなど、物理的な時間の問題等にもどうしても心配がでてくるという現場の意見も聞いている。時間の問題だけではなさそうである。

○ 箕面市では自校方式の全員喫食に変わっていった。他の市も自校方式の全員喫食やセンター方式の全員喫食に変わっている。水準が高く、子どもたちに対しての配慮がされているのではないかと思う。誰のために給食をするのかを検討してこういった形になっていったのではないかと思う。

(3) デリバリー選択制給食について

○ デリバリー選択制給食を実施している他市の献立表をもとに事務局より説明

(主な意見・説明等)

○ 羽曳野市の献立表は、工夫されていて季節感も出ている。大阪市は、献立の写真を出されていて、子どもたちがこの写真を見て選択する。カラーで印刷したのを見ると、アレルギー表示について色分けで情報提供するという工夫もしている。

○ 2つの献立表に共通して言えるところは、熱量とたんぱく質と脂質の表示はあるが、ミネラル部分がないことである。成長期の子どもたちに大切なビタミンや鉄分やカルシウムなどの表記がないことはどうなのかなと思う。ちゃんとたてているとは思いますが、そういった表記がないのは大丈夫かなと心配になる。

○ 献立の中身は変化に富んでいる。これがおいしくて、温かいものがそのまま提供でき、栄養表示のことも全部カバーができれば、家庭から持って来るお弁当には十分匹敵するかなと思う。

○ デリバリーの問題も大切だが、給食の全員喫食の問題も大きいと思う。全員食べるか選択制にするのか、デリバリーの選択ではなくて、自校方式だけ選択制なのか、センター方式だけ選択制なのか、それから自校方式で全員喫食、いろいろとある。デリバリーと選択制を分けて考えるのがいいのかなとったりもする。

○ 温かさについては各市工夫をされているので、いろいろな良い所を見習って、より良

いものが提供できるよう今後検討する。

○ 給食は全員に提供できるようにというのが基本である。自分たちが「食べたい、食べたくない」と選択するのであればいいが、アレルギーの子は頼みたくても頼めないということになる。

○ 寝屋川市がこの1月からデリバリー方式の全員喫食を実施されていて、業者が作ったお弁当だが除去食の対応をされているということで聞いている。そういった方法も踏まえて今後の課題かと思う。

(4) 中学校給食検討委員会の提言

○ 提言案について事務局より説明

(主な意見・説明等)

○ 3月に案が出され、この検討委員会で検討したが、残念ながら一番望ましい方法にたどり着けていないというところから、現状はデリバリーの選択制ということになるかなと思っている。

○ デリバリーで喫食率が悪かったり、お弁当を持ってこられていない子がいたりして、やっぱり改善しないといけなくなったときに、自校方式で全員喫食となった場合、もう一度一からやり直しですよね。その場合、保護者の方や市民の方は納得されないと思う。そこら辺はどう説明されていくのか。

○ 今まで市内部の中で検討してきた中で、デリバリー方式の選択制ということが摂津市にとって現実的である方式であるという判断のもと、3月に大阪府に対して提出しました。

○ 市が考えているデリバリー選択制の方式について検証していただいて、結果ここで決定するものではなくて、どういった課題があるのか、大きな問題点がないかもお話をしていただいて、大きな問題がなければこのまま進めていきたいと思っている。

○ 提言案の「デリバリー方式の選択制については課題はあるものの」ということの課題にアレルギーの問題も入っています。

○ 導入について、選択制から全員喫食、就学援助なども引き続き検討していくが、すぐ

に自校方式ということになればなかなか財政も厳しい状況である。資料として提出した諸課題等もすべてクリアするにはかなりの時間を要すると考えるので、デリバリー選択制の方向で進めていきたいと考えている。

○ 提言の中にも明記はされているが、実施に向けた検討を行うにあたっては、関係者の意見を十分に聞く機会を設けていただきたいということを事務局にお願いしておきます。中学校の給食の実施の方式に問わず、中学校の現場の状況を理解していただいて、うまく連携をとってもらって、子どもたちが少しでもいい状況で、昼食をしっかりとれるような状況にさせていただくという、この2点を強くお願いして、この会の結論とさせていただきたいと思う。